

会 議 録

会議の名称	平成29年度 第3回西東京市スポーツ推進審議会
開催日時	平成29年10月11日（水）18時00分から19時00分まで
開催場所	保谷庁舎 1階会議室
出席者	(委員) 北岡会長、吉田委員、飯塚委員、姉松委員、村上委員、前田委員、林委員、山縣委員、岡田委員、川村委員 (事務局) 宮坂課長、工藤係長、本谷主任
議題	1 オランダNOC*NSF連携プロジェクトについて 2 西東京市スポーツ振興補助金の交付について
会議資料の名称	資料1 西東京市スポーツ推進審議会傍聴要領 資料2 オランダNOC*NSF連携プロジェクト西東京市の取組 資料3 JSNオランダ連携プロジェクト調印式について 資料4 平成29年度西東京市スポーツ振興事業補助金の審査結果② 資料5 平成29年度西東京市スポーツ振興事業補助金の審査結果③ 資料6 平成29年度 第2回西東京市スポーツ推進審議会 会議録（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会 議 内 容

1 開会

○会長

ただいまより、平成29年度第3回スポーツ推進審議会を開会する。

○スポーツ振興課長

先月実施した市民体力テストには200名弱の方の参加があり、握力、上体起こし、反復横とびなどを行い、汗を流されていた。川村委員には、医師として事業にご協力いただき感謝申し上げます。

本日は、オランダオリンピック委員会・スポーツ連合連携事業の進捗状況報告及び補助金の審査等を議題とする。

○事務局

8月21日付け人事異動に伴う職員挨拶

2 議題

○会長

議題に入る前に、傍聴人の定員について決定したい。傍聴要領（資料1）第2に会議の傍聴人の定員は、会議会場の広さ等を勘案して会議の会長が定めるとなっている。5人を提案したいがよろしいか。

○委員

この会議室内に椅子を並べるということか。

○事務局

そうである。会議室の広さから5人が妥当であると考えます。

○委員

異議なし。

○会長

異議なしであるので、次回以降そのような取扱いとする。ホームページ等で傍聴を周知することとなる。

○スポーツ振興課長

議題に入る前に、前回第2回審議会にて報告した東町テニスコートについて、進捗状況を報告させていただく。7月20日及び21日に利用者説明会を行い、東町テニスコート返還の経緯等を説明した。返還については、ある程度納得していただいたが、利用者からはテニスコート新設や新しいテニスコートができるまでの間の代替施設での借用等に関する要望の声も聞かれた。

9月議会においては、西東京市スポーツ施設条例から東町テニスコートを削除するための改正が可決された。また本議案に伴い、早い時期に近隣にテニスコートを作ってほしいという陳情が提出され、最終的に採択された。今後は、テニスコートのあり方及びスポーツ施設全体のあり方等をあわせて検討していく。

次にリレーマラソンについて、前々年度及び前年度は、多摩北部都市広域行政圏協議会において、多摩北部広域連携活動実行委員会が実施してきたが、今年度については、広域行政圏ではターゲットバードゴルフを行うこととなった。しかしながら、リレーマラソンは、第1回目から好評であったので、西東京市単独でリレーマラソンを実施する。先月末まで受付し、120チームほどの申込みがあった。12月23日に開催するので、委員の皆様もお時間があれば様子を見に来ていただきたい。

(1) オランダNOC*NSF連携プロジェクトについて

○会長

事務局から説明をお願いします。

○事務局

本市では、東京オリンピック・パラリンピックに向けてスポーツ振興、障害福祉、文化振興、子育て支援、教育など多面的な角度から取り組んでおり、それらは2020年以降もレガシーとして根付くものと考えている。その一環として取り組んでいる、オランダNOC*NSF連携プロジェクトについて説明する。

昨日10月10日にオランダ大使館において調印式が行われた。（資料3説明）

この中で、オランダは、社会的格差、障害等を克服し共生社会を作っているとの話があった。また、オランダの車椅子テニスの選手からは、スポーツに関わった原動力は友達と遊びたいという気持ちであり、スポーツクラブ、トレーナー等がネットワークを結んでく

れたとスピーチがあった。

また、パラバドミントン選手からは、東京パラリンピックでメダルを目指すとの抱負を伺った。

11月11日（土）及び12日（日）には、西東京いこいの森公園において西東京市民まつりが開催されるが、12日には野外ステージにて、オランダパラアスリートをお招きして、プロジェクトを周知する予定である。また、市民及び市にゆかりのあるアスリートの方々にお声掛けし、ご参加いただけるアスリートへの応援及びアスリートからスポーツの楽しさのメッセージの発信等を予定している。

今年度の西東京市の取組としては、市民まつりにおいて本プロジェクトに興味を持っていただき、現在行っているENJOYニュースポーツのほかパラリンピック体験事業、リレーマラソン等において、障害者と健常者が一緒にスポーツを体験するきっかけ作りや障害者がスポーツの楽しさを実感する事業を予定している。（資料2説明）

障害や障害者に対する意識は変わってきていると思うが、今年度はきっかけづくりの年として、さらに充実させていきたい。また、本プロジェクトは、今年度以降2020年度まで行われる。

また、資料中にボッチャ、ゴールボール、コーフボールがあげられているが、この競技は4年間のこのプロジェクトでキーになっていくスポーツである。11月1日号の1面で特集記事があるので併せてお読みいただきたい。

総合型地域スポーツクラブの「にしはらスポーツクラブ」や「ココスポ東伏見」では、ボッチャの実施や障害者に対するスポーツの取組を広めていただいているところである。地元にもこのようなクラブがあることが障害者スポーツ参加のきっかけ作りに重要であると考えている。

○委員

足立区、江戸川区との3自治体での実施ということであるが、資料2は西東京市独自の取組であるのか。

○事務局

ボッチャ、コーフボール、ゴールボールについては、3自治体共通の種目である。内容については、各自自治体において、体験事業や学校授業等様々である。

○委員

プロジェクトとして、3区市は一緒にやるのか、住み分けはどのようになっているのか。

○事務局

3区市で連携できるところもあると考えている。連携する際には、地域的に離れている課題を解決して進めてまいりたい。

○委員

ボランティアの育成について、東京オリンピック・パラリンピック大会のボランティアにも適用するものであるのか、その整合性について伺いたい。

○事務局

東京オリンピック・パラリンピック大会については、組織委員会及び東京都で募集することとなっているほか、26市では東京都に地域からのボランティアの参加ができるよう要望をしている。共有できる部分は、一緒に行っていきたい。

○委員

ボッチャはスポーツ推進員を中心に小学校への派遣等を行っていると思うが、コーフボールやゴールボールは指導者を呼んで広めていくことを検討または進めているのか。

○事務局

日本財団パラリンピックサポートセンターや競技の関係協会からの協力を得る等、オランダからの指導者に限らず取組を広げていきたい。

○委員

施設には、段差があつたり幅が狭かつたりと競技ができる場所が限られてしまうと思う。常に競技ができる条件のある会場がないと難しいと思う。

また、各競技のルールは簡単であると思うがボールや道具をそろえないといけないと思う。

スポーツボランティアも必要になってくると思う。

○委員

障害者が参加するには、バリアフリーなどの施設改修も必要であると思うが、平成 30 年度は予算化しているのか。

○事務局

どの施設で何のスポーツができるか公共施設だけでなく教育委員会等とも連携しながら場所を探していきたい。施設改修においては、施設維持管理のための工事もあることから計画的に進めてまいりたい。

ボッチャについては、スポーツ推進員の派遣制度があるので、ぜひ小学校等においても活用していただきたいと考えている。

(2) 西東京市スポーツ振興補助金の交付について

○会長

事務局から説明をお願いします。

○事務局

スポーツ振興事業補助金対象事業②及び③について説明

○委員

I T U世界エイジンググループ・ロングトライアスロンとは、どのような競技であるのか。

○事務局

対象事業は、スイム 3 k m、バイク 120 k m、ラン 30 k mの大会で、エイジンググループとは、年齢別で順位が決まる種目である。エイジンググループの他には、アスリート部門がある。申請者は、エイジング女子 45～49 歳の部で 26 位の成績であった。

○委員

バドミントン大会の結果はどうであったのか。

○事務局

9 位である。

○委員

補助金交付に関する審議の際に、対象事業の概要や成績について質問が出るので、資料に項目として追加してはいかかがか。

○事務局

そのように対応したいと思う。

○委員

補助限度額について、国際大会に出場しても 40,000 円というのは、補助として少ないか。国内大会をベースに定められているものと思うが、国際的な活躍を支援するために、限度額を増やす方向は考えているのか。

○事務局

限度額については、個人の場合、東京都内は 2,500 円、関東甲信越地方及び静岡県は 10,000 円、その他の道府県は 25,000 円となっている。

○委員

補助金の額については、どのように決まっているのか。予算総額が決まっている場合、多数の申請があった場合減額等になるのか。

○事務局

予算の範囲内で対応している。

○委員

各連盟、協会からの推薦やポイント制など大会、各団体によって出場条件が異なる場合や、団体と個人で出場機会が異なっていることがあると思う。

○事務局

近隣自治体ではこのような補助制度はあまりないことから、予算があることが本市の特徴でもあると考えている。

○会長

補助金の交付について、承認するということでよろしいか。

○委員

異議なし。

○会長

異議なしということで、補助金の交付について承認されたものと決定する。

(3) その他

○会長

事務局から説明をお願いする。

○事務局

平成 29 年度第 2 回会議録について、ご承認をいただきたい。

○会長

第2回会議録の内容について、これでよろしいか。

○委員

会議内容の冒頭において、「第2回」であるところが「第1回」となっている。

○事務局

「第2回」に修正する。

○会長

その他、第2回会議録の内容について、これでよろしいか。

○委員

異議なし。

○会長

異議なしということで、第2回会議録は承認されたものと決定する。

○会長

その他何かあるか。

○委員

田無工業高校文化祭について情報提供

○会長

以上で本日の審議会は、閉会とする。